

こうぎん News Release

平成24年8月8日
株式会社 高知銀行
高知市堺町2番24号

各位

『第7回 シーズ発表会』の開催について

～地元企業の皆さまのニーズと四国地区高専の研究技術を連携～
今回のテーマは「機械分野」

高知銀行（頭取 森下勝彦）は、高知工業高等専門学校（以下、高知高専）との連携による、地元企業の皆さまを対象に、企業のニーズと高専が保有する研究技術との連携を図ることを目的とした「シーズ発表会」を毎年開催しております。

今回は、四国地区高専地域イノベーションセンターの協力もあり四国内の高専合同による「四国地区高専シーズ発表会」として下記のとおり開催いたしますので、お知らせいたします。

当日は、「機械分野」をテーマとした研究技術の発表を行なうとともに、その他の分野（電気情報、物質、環境都市デザインほか）についてもダイジェスト式シーズ発表を行ない、その場で技術相談もお受けいたします。また、研究開発に係る助成金について高知県産業振興センターよりご紹介いただくほか、高知県発明協会の知財総合支援窓口も併設いたします。

記

開催日 平成24年8月27日（月）午後1時～5時まで
場 所 高知銀行本店 5階ホール（高知市堺町2番24号）
テーマ 機械分野
募集人数 30名程度（事前のお申込みが必要です）
参加費用 無料
申込受付 お近くの当行本支店窓口または下記まで
申込期限 平成24年8月22日（水）
なお、お申込みの状況により人数を調整させていただく場合がございます。

【本件に関するお問合せ】

高知銀行営業推進部 担当中山

TEL 088-871-1044

FAX 088-871-7124

E-mail y-nakayama@kochi-bank.co.jp

高知高専・高知銀行連携

第7回 シーズ発表会

(四国地区高専シーズ発表会-機械分野-)

日程：平成24年8月27日(月)

会場：高知銀行本店5階大会議室（高知市堺町2-24）

プログラム

12:30 受付

13:00 開会挨拶

13:10 高知高専各学科シーズ紹介（各発表12分）

◆機械工学科，電気情報工学科，物質工学科，環境都市デザイン工学科

14:00 四国高専シーズ発表（各発表25分〔講演20分＋質疑5分〕）

◆「産学連携による竹の利活用研究プロジェクト」

鶴羽 正幸（阿南工業高等専門学校 地域連携・テクノセンター）

◆「TiN薄膜被覆ステンレス鋼の疲労き裂進展挙動解析」

福井 智史（香川高等専門学校 機械工学科）

◆「波長変換ガラス蛍光体の開発と太陽電池および光計測への応用」

宮田 剛（高知工業高等専門学校 機械工学科）

15:30 県内企業を対象とした研究開発資金・助成金紹介（質疑含む）

◆「研究開発資金・助成金について」 高知県産業振興センター

15:50 高知高専地域連携センター長挨拶

16:00 分野別技術相談

相談員：高知高専 機械 電気情報 物質 環境都市デザインの各学科教員ほか

17:00 終了

◇併設 一般社団法人高知県発明協会 知財総合支援窓口（14:30～17:00）

問合せ・申込み：株式会社高知銀行 営業推進部 公務・金融法人室

TEL：088-871-1044 FAX：088-871-7124

E-mail：y-nakayama@kochi-bank.co.jp

※ 事前の申込みが必要です。申込期限 8月22日（水）

主催：株式会社高知銀行，高知工業高等専門学校，四国地区高専地域イノベーションセンター

共催：（社）高知高専テクノフェロー

申込書は裏面です

高知高専・高知銀行連携 第7回シーズ発表会

【発表シーズ概要】

発表者	発表題目	概 要
鶴羽 正幸 (阿南高専)	産学連携による竹の利活用研究プロジェクト	本テーマは地域に繁殖する未利用の竹を主に工業製品に有効活用して、地域の産業の活性化に寄与することを目指した研究である。竹素材のもつ繊維強度、抗菌性、消臭性などの特性を活かした用途商品を普及させるためには、竹素材の一次加工、及び用途商品に繋げる二次加工において、品質の確保と加工コストの低減が不可欠である。この発表で、これら一連の技術開発において、新しい工法を盛り込んだ研究成果と、その事業化について説明する。
福井 智史 (香川高専)	TiN 薄膜被覆ステンレス鋼の疲労き裂進展挙動解析	本研究は、アークイオンプレーティング法によりステンレス鋼板表面に TiN 膜を成膜した試験片に対して疲労強度試験と疲労き裂進展試験を行い、TiN 薄膜が疲労特性へ与える影響を調べた。すべての試験片の疲労き裂進展曲線は、破断する直前で急激に加速した。また、疲労き裂進展速度は成膜前の鋼板表面を鏡面研磨処理することで減少するとともに疲労強度も向上した。また、疲労破壊前後の試験片表面観察から、疲労試験後は表面粗さが増加することが観察された。
宮田 剛 (高知高専)	波長変換ガラス蛍光体の開発と太陽電池および光計測への応用	本研究はガラス蛍光体をエネルギー分野や計測分野へ応用することを目的として、四国内の高専で連携して行っています。ガラス中に希土類イオンをドープしたガラス蛍光体は完全無機固体であるため、樹脂蛍光体に比べ、耐熱性、機械的特性および成形性に優れています。最近では、ハイパワー白色発光ダイオード用蛍光体として、また、太陽電池の発電効率を向上させるスペクトル・コンバータとして期待されています。本発表では、ガラス蛍光体について概説するとともに、これまでの研究成果について報告します。

高知高専・高知銀行連携 第7回シーズ発表会 参加申込書

【締切日 平成24年8月22日（水）】

高知銀行 営業推進部 公務・金融法人室 中山 行き
 TEL: 088-871-1044 FAX: 088-871-7124
 E-mail : y-nakayama@kochi-bank.co.jp

企業名	TEL
ご参加者名 (役職・所属)	()
ご参加者名 (役職・所属)	()

個人情報の利用について

本書面のご記入にあたって取得した個人情報につきましては、高知銀行と高知工業高等専門学校との連携協力協定に関する事業以外に使用することは一切ありません。また、情報の管理につきましては、高知銀行、高知工業高等専門学校において適切に管理します。